

西大寺北地区地域ミーティング  
(通算第 84 回)

開催日	平成 27 年 9 月 26 日 (土)
開催時間	午後 4 時～午後 5 時 30 分
会場	西大寺北地域ふれあい会館
参加者	51 名



地 域 課 題	市 の 回 答
<p>1. 平成 26 年 1 月 8 日実施の地域ミーティング課題その後の進捗状況について</p> <p>①2 号踏切（西大寺北～あやめ池間）の拡幅と歩道整備</p> <p>②西大寺駅も地下化並びに踏切の連続立体交差事業の推進</p> <p>③西大寺駅にリニア中央新幹線の間際駅を併設させる事業の推進。</p> <p>④西大寺北地区住民の災害時避難場所について。</p>	<p>① あやめ池第 2 号踏切について、前回補償調査中の箇所は、平成 26 年 8 月末に建物の補償調査が完了している。所有者と協議を重ねているが、希望額と補償額に開きがある。引続き全力で行う。</p> <p>② 奈良県において、平城宮跡内の近鉄線の移設の検討がされている。近鉄から専門的な助言を得ながら、検討を進めている。技術的に大きな課題があると聞いている。奈良市としても、近鉄に対して課題の解決に取り組まれるよう、奈良県とともに強く要請していく。</p> <p>③ 奈良市においては、中間駅設置予定地として誘致活動を実施しているが、関係機関への陳情・誘致活動等に引続き取り組む。名古屋・大阪間については JR 東海の動向に変化がなく、平成 26 年の地域ミーティングの回答以来、進捗していない。</p> <p>④ 市としては「西大寺北ふれあい会館」を一次避難所に指定する考えはない。会館の外の近隣公園は「一次避難地」として市が指定している。災害時には会館を避難所として有効に活用してほしい。</p>

<p>2. 近鉄西大寺駅近隣の開かずの踏切の解消について</p> <p>3. 大和中央道の完成時期について</p> <p>4. 大和中央道（北側）の開通後の交通の分岐についてと、2号踏切の拡幅との連携づけについて</p> <p>5. 地域割付について</p> <p>6. 秋篠川治水対策について</p>	<p>会館には拠点備蓄倉庫（防災倉庫）がある。また、飲料水用として40トンの耐震性の貯水槽も備えている。なお、一次避難所としている西大寺北小学校は耐震補強済み、伏見中学校についても耐震工事が終了しており、耐震性は保っている。</p> <p>2. 県と市で「まちづくりに関する包括協定」を本年の初めに結んでいる中で、開かずの踏切をどうするか。県道・市道の部分があり、それぞれの方向性を1つにし、県と問題意識を共有していく。</p> <p>3. 大和中央道については、用地買収は8～9割終わっている。残りの用地買収に着手するも、あと3～4年が必要である。ただ、国からの補助金と市の予算で行っているので互いの準備が整わないと進まないのが確実なことが言えない。買収したところの一部使用・供用など随時おこなっていこうと考えている。</p> <p>4. 敷島校区について谷田奈良線に平面で接続する。接続部分の県道の拡幅も考えている。南側の課題（踏切）が解決した後、交通の流れを検証して対策を考えていきたい。</p> <p>5. 地区自治連合会の区割りを小学校区域に合わせるならば、関係自治会や地区自治連合会の意向もお聞きした上で進める必要があるので、話し合いができる場を設けたい。</p> <p>6. 水位観測については、国・県より観測データをもらい、そのデータを利用して避難勧告・避難指示等の判断基準にしている。今後、皆様にデータを提供できるように考えたい。また、秋篠川の改修については、県が管理し、随時行っている。</p>
---	---